

名古屋大学《未来社会創造機構・特任教員》公募要領

1	募 集 件 名	特任講師または特任助教の公募	
2	所 属	名古屋大学未来社会創造機構	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容]</p> <p>■ JST 共創の場形成支援プログラム「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」において未利用資源・エネルギーの利活用に資する技術開発を行う。本研究では、軽金属やシリコンなどユビキタスな元素を利用した高効率エネルギー変換技術を開発する。具体的には、半導体薄膜の結晶成長プロセスやエネルギー変換デバイスの開発を行う。</p> <hr/> <p>[勤務地] 名古屋市千種区不老町</p> <hr/> <p>[募集人員] 特任講師または特任助教 いずれか 1 名</p> <hr/> <p>[着任時期] 2023 年 6 月 1 日以降のできるだけ早い時期</p>	
4	募 集 研 究 分 野	(大分類) 工学	(小分類) 材料工学、プロセス工学・化学工学、電気電子工学
		(大分類) 総合理工	(小分類) 応用物理学、計算科学
5	勤 務 形 態	<p>常勤</p> <p>任期：2024 年 3 月 31 日まで（予算の状況・勤務成績等によって更新の可能性有り。ただし最長 2032 年 3 月 31 日まで。）</p>	
6	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士の学位を有する方。 ・半導体材料・デバイス開発など上記募集研究分野に関連する研究経歴があり、情熱をもって研究に取り組んでいただける方。 	
7	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 <p>https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与は本学において定める年俸制とする。 ・祝日・年末年始休日、有給休暇設定あり。 	
8	応 募 期 間	2023 年 1 月 13 日～2023 年 3 月 9 日（必着）	
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 履歴書（写真添付、連絡先（住所、電話、メールアドレス）明記） ② 研究業績リスト（学会誌等の論文、国際会議、著書・解説、特許、受賞などに分類） ③ 主要論文 5 編以内の PDF ④ これまでの研究内容（A4 用紙 2 頁以内） ⑤ 照会者 2 名の方の連絡先（氏名、所属、連絡先） ⑥ 類型該当性の自己申告書（下記 URL より様式をダウンロードください。） <p style="text-align: center;">https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/zXHTc8eBAB8Hmcs</p> <p>JREC-IN Portal の「Web 応募」機能を使用し、上記の書類を圧縮するなどして 1 つのファイルにまとめて応募してください。なお、お送りいただいた書類は選考のみに使用しますが、返却はしませんのでご了承ください。</p>	

		<p>[選考内容] 書類審査のうえ、随時、面接を行います。面接の際の旅費は自己負担とします</p> <p>[結果通知方法] 選考結果はメールで通知します。</p> <p>[問い合わせ連絡先] 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻（兼）未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター 教授 宇佐美 徳隆</p> <p>e-mail : usa@material.nagoya-u.ac.jp</p>
10	そ の 他	<p>① 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>② 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</p> <p>③ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。</p> <p>④ 面接に要する交通費は支給しません。</p>